

足裏の痛みに悩んでいる患者さんの強い味方 静岡県中・東部で初 体外衝撃波治療装置を導入

現在、全国に十数台しかない体外衝撃波治療装置を
当院に導入しました。県内の病院では、2例目です。



導入した整形外科用 体外衝撃波疼痛治療装置

◆体外衝撃波疼痛治療とは

体外衝撃波は、尿管結石などの破砕術としては 1980 年代から使用されている技術です。これを整形外科領域の治療に応用したものが、体外衝撃波疼痛療法です。

体外衝撃波疼痛治療装置による治療は、まったく新しい治療法です。これまで、さまざまな治療法を試したが痛みがなくなるという人に、検討いただきたい治療法の一つです。新しい治療法ですが、10 数年前からヨーロッパを中心に普及し、全世界で有効で安全な治療法として使用されています。薬剤を使用しないため、ドーピングの心配もなく、スポーツ選手に特に人気です。

体外衝撃波疼痛治療には、以下のような特長があります。

- 低侵襲（身体への負担が少ない）で安全・有効
- 短期間で除痛
- 副作用がほとんど無い
- 治療時間は約 30 分程度
- 治療は座位または仰腹臥位で可能

今回、当院が導入した体外衝撃波治療装置は、2008 年に厚生労働省が認可し、国内で発売が開始された装置です。

◆適応疾患

健康保険適応疾患

難治性足底腱膜炎

（保存療法で効果が見られない場合）

※他にも治療効果が認められる疾患がありますが、現在は保険適用となる上記疾患にのみ治療を行っています。



※他疾患の治療は、自由診療で今後実施予定です。

※妊婦・産婦・授乳婦と、小児への治療は安全性が確認されていません。

◆治療メカニズム

体外衝撃波の治療効果には、組織修復効果と除痛効果があります。

- 腱付着部における血管の新生を誘導
- 疼痛伝達物質（CGRP）を減少させ、神経中枢への疼痛伝導を抑制
- 自由神経終末の除痛と、その後の再生

◆実際の治療

- ① 仰臥位・腹臥位・座位のいずれかの体位で治療します。
- ② 超音波診断装置で患部を確認し、衝撃波の照射位置を決めます。
- ③ 衝撃波の照射を開始します。
- ④ 照射位置がずれないように、痛みの中心部を確認しながら、照射位置の微調整を行います。
- ⑤ 衝撃波のエネルギー量と照射速度を徐々に上げていきます。
- ⑥ 30分程度で治療終了です。



◆有害事象について

副作用や有害事象の発生頻度が非常に少ない治療法ですが、本治療により起こりうる有害事象としては、以下のようなものがあります。

- 治療中や治療後の疼痛
- 衝撃波照射部位の腫脹（浮腫）や斑状、点状出血
- 神経に照射した場合の感覚異常、知覚低下、神経痛
- 湿疹
- 腱・腱膜の断裂
- 骨の異常増殖

◆費用について

- 難治性足底腱膜炎

5,000 円(1 割負担)～15,000 円(3 割負担)の治療費がかかります。

※2012 年(平成 24)年 4 月から、保険の適用が認められました。

※上記以外に、初診料や再診料などががかかります。

◆治療を希望される患者さんへ

体外衝撃波外来は、基本的には月～金曜日の午後5時～7時を予定しています。治療はすべて医師が行います。治療は完全予約制です。詳しくは、整形外科にお問い合わせください。また、病院や接骨院等の医療機関からの紹介も随時お受けいたします。

問い合わせ

整形外科外来窓口（1 番ブロック） TEL : (054) 646-1111 内線 : 2410

電話受付時間 14:00～17:00